

江戸の
歴史・文化の
理解促進に係る
ワークショップ

第2回

東京都は、江戸時代から今に息づく有形・無形の様々な歴史・文化に焦点を当て、「江戸の歴史・文化」を活用した東京の観光振興を推進しています。

この取組の一環として、旅行関連事業者の皆様を対象としたワークショップを全3回開催します。地元の歴史・文化の魅力や奥深さについての理解を深め、観光資源としての可能性を知っていただくことで、旅行者の方がより一層東京観光を楽しめるような商品造成等にもつなげていくことを目的としています。ご興味のある事業者の皆様は、ぜひご参加ください。

「落語」をテーマにした

観光街歩きワークショップ



やなぎや ふりゅう
講師：柳家 風柳氏



ちようかう ももか
講師：蝶花楼 桃花氏

観光資源としてはまだ十分に活用されていない「落語」をテーマに、江戸の新たな観光の可能性を体感していただきます。町人文化を始めとする江戸の生活様式にも理解も深められる内容となっております。フィールドワークの舞台は日本橋。江戸のメインストリートともいえる「日本橋通り」は、大小の店が軒を連ね、全国の文化が交流する場になりました。周辺の観光スポットを取り上げながら、日本の伝統芸能の話芸である「落語」と観光を組み合わせ、地域資源の新たな魅力を引き出す方法を考えます。

令和7年 11/20 木 雨天決行 13:00~16:00

参加費
無料

会場 ビジョンセンター東京日本橋(東京都中央区日本橋1-1-7)

対象 都内旅行事業者、都内自治体の観光担当者、都内観光協会、旅行商品の造成等に携わる事業者等

内容 日本橋にゆかりある落語聴講、フィールドワーク(90分程度)、グループワーク

定員 先着30名程度

主催 東京都

江戸落語・上方落語の二刀流で知られる柳家風柳氏と、東京生まれ・東京育ちの蝶花楼桃花氏の同期コンビにより、江戸の「落語観光」の可能性をお伝えします。

日本橋にゆかりある演目を披露。

柳家風柳氏は、「金明竹」

蝶花楼桃花氏は、演目「子ほめ」

落語を聴講後、落語の舞台である日本橋の街を講師と一緒に歩き、物語の世界観を体験できる観光地としての楽しみ方を体験いただきます。

参加申込 11月13日(木)までに必要事項を右記の申込フォームからご入力ください。「受付完了メール」をお送りします。

申込フォーム▶

お問合せ 江戸の歴史・文化の理解促進に係るワークショップ運営事務局(株式会社エイチ・アイ・エス内) edo-rekishibunka@his-world.com

